

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 17 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長 田中 新一	
都景-11	緑化啓発事業	☒ 自治事務	主管課	みどり公園課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-①緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等
意図	緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。
効果	緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
・小中学生を対象に緑のポスターコンクールを実施し、緑化や緑地保全に対する意識を高めた。
・緑化まつりを中央公園フェスティバルと同時開催とし、緑を含む環境意識の高揚を効率的に図った。
・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	緑化啓発事業	緑化啓発に関する業務委託料	緑の学校、緑のレンジャーの受講者数(人)	64人 / 5,170	80人 / 5,170	80人 / 5,379	80.0%
02	「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業	ポスターコンクール優秀賞等報償費	ポスター応募数(令和5年度から)	118 / 125	50 / 145	100 / 31	236.0%
03	鎌倉市緑化まつり事業	鎌倉市緑化まつり事業負担金	-	- / 159	- / 160	- / 303	-
04	まち並みのみどりの奨励事業	まち並みのみどりの奨励金	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化の延長(m)	78.96m / 730	100m / 2,228	100m / 2,206	78.96%
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	0 /	0	0	
			地方債	0 /	0	0	
			その他特定財源	0 /	0	0	
			一般財源	6,184 /	7,703	7,919	
		事業費の合計(千円)		6,184 /	7,703	7,919	
		人件費(千円)				10,225 / 8,374	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	0.9
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0.5

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	緑化啓発事業	緑のレンジャージュニアは、各学校にチラシを配布するなどした結果、定員を上回る応募があり抽選によって定員の30人を確保した。一方、大人向けの講座である緑のレンジャー及び緑の学校の講座については定員割れしており、周知不足が原因と考えている。	目標とするまちの姿を、市街地の緑を維持管理する担い手の育成が継続的に行われるとしており、これに沿った取り組みとなっている。	緑のレンジャー等講座について効果的な募集方法により広く周知を図る。引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを拡充していく。
02	「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業	児童・生徒の夏休み中の作業として募集し、結果的に目標値を超える応募があった。令和7年度の目標値は令和6年度実績を踏まえた数値とした。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	児童・生徒の制作意欲を引き出すようなPRや情報発信を行い、ポスターコンクールを実施することにより、引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを拡充していく。
03	鎌倉市緑化まつり事業	指標については、来場者数が一つの目安となり得るが、場内の安全管理を重点に作業を行うことから、来場者の計測が難しいため、指標を設定しない。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	参加者が楽しみながら緑への関心を高められるよう工夫を加え、緑化まつりを実施し、引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを拡充していく。
04	まち並みのみどりの奨励事業	目標値に対して約80%の達成率となった。 敷地内緑化のニーズはあるものの、助成制度の活用について周知が進んでいないと考えられる。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	防災・減災機能や環境負荷軽減に寄与する市街地の緑の役割について知識の普及を図ると共に、当該事業の周知を図る。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1 負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1 協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済の場合のパートナー	NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・まち並みのみどりの奨励事業の申請に対しては、住宅の新築や改修、危険ブロック塀の撤去などの機会に利活用を呼び掛けるなど、景観面のみならず環境や防災機能の向上の点からも、市街地の緑を増やす取組を引き続き実施していく。 ・緑のレンジャー等の講習会については、参加者数は一定数以上いることから、例年変わらないニーズがあり、緑の維持管理の担い手を育成するための事業を拡充する。 ・緑化まつり及びポスターコンクールについては、より魅力的な内容をPRしながら効果的な取組となるよう工夫を加えて実施することで、緑に対する意識の高揚を図る。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	緑の学校、緑のレンジャーの受講者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
緑化啓発の推進のため。	目標値	110	30	30	70	80	80	
	実績値	0	15	26	78	64		
	達成率	-	50.0%	86.7%	111.4%	80.0%		

指標(単位)	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化の延長						単位	m
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
接道緑化推進のため。	目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	実績値	188.54	77.43	9.70	87.50	79.00		
	達成率	188.5%	77.4%	9.7%	87.5%	79.0%		

指標(単位)	ポスター応募数(令和5年度から)						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
緑化啓発の推進のため。	目標値	-	-	-	120	50	100	
	実績値	-	-	-	39	118		
	達成率	-	-	-	32.5%	236.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--